

平成31年度 総合問題 (第二部 商経学科) 解答例

問1 (30点)

【採点のポイント】

- ・適切な箇所を抜き出していること。

【解答】

正しい選択へとやわらかく人を押しやる (18字)

問2 (50点)

【採点のポイント】

- ・デフォルトとは何かを正しく踏まえていること。
- ・デフォルトがもつ効果について記述していること。

【解答例】

デフォルトは、希望すれば別の選択もあるが、何の意思も表明しなければそうなるという選択のあり方で「既定の選択肢」とも呼ばれている。ある方向へと誘導するという意味ではパターンリズムであるが、そのために何かができなくなるという制約ではない。選択肢は公開され、他の選択も自由でありながら、自然に選ぶことができるように仕組み自体がある既定の選択へと傾斜している。強制でも放任でもないスマートな規制の方法である。(200字)

問3 (30点)

【採点のポイント】

- ・前後の文脈を踏まえたカタカナ3文字であること。

【解答例】

サラダ

問4 (20点)

【解答】

イ

問5 (70点)

【採点のポイント】

- ・商品の提供の仕方について述べていること。
- ・論旨が明確であること。
- ・日本語表現が適切であること。

【解答例】

私が最も良いと考える商品提供の仕方は、資料1のようにサイドメニューにサラダをデフォルトとして設定する仕方である。この方法で自然に野菜を摂取する方法へと誘導することができて、さらに定型的なサービスなので迅速に提供できると考える。

この方法に加えて、顧客のニーズに合わせてハンバーガー本体の組み合わせを変えることができるようにする。例えば、ハンバーガーのパテと野菜やチーズとソースの組み合わせを増やす。また、バンズをアレルギー対応や糖質制限のある人向けのものも選択できるようにする。これで、売り上げを増やすことにつながると予想される。

従って、私はデフォルトの設定によって、効率向上を図りながら顧客ニーズをできるだけ深く満たす、これらの提供方法が最良と考える。